

総合調査設計株式会社  
sogo tyosa sekkei inc. presents

## 大阪探検隊 Osaka City Expeditionary party

vol.007

# [水陸バス]

*An amphibious bus*



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回ご紹介する内容は、「日本でただ一台だけの水陸両用観光バス」です。

### 陸を走る水陸両用バス！

「日本でただ一台だけの水陸両用観光バス」というキャッチコピーにつられ、またもや水かいどう 808 のイベントに参加してしまいました。

4月15日、JR桜宮駅東口にて奇妙なバスに乗るところからこのイベントは始まりました。



写真上) JR桜ノ宮駅東口駅前広場に水陸両用バスが到着！

写真右)  
水陸両用バスには  
タラップで乗  
り込みます



大型観光バスとほぼ同じ大きさですが、客席はかなり高く、周りの奇異の眼差しが妙な優越感を感じさせてくれました。

写真左上) 船内? 車内? の様子  
船なので窓はありません。  
写真右上・写真右)  
車内からは市営バスを見下ろせる



## 大川に入る水陸両用バス！

この水陸両用バスの見所は、バスから船に変身する過程です。

スロープを自走しながら次第に水の中に入っていくわけですから、どこでも水の中に入っていけるという訳にはいきません。大川周辺では桜宮公園に一カ所しかスロープがありません。

従って、我々は桜宮駅から陸路（バスの状態）でそのスロープへと向かいます。



写真左上) スロープ 写真右上) 大川へ突入！周りの人もその迫力に思わず歓声！

スロープでの入水もしずしずとといった様相で、誠にスムーズに船に変身。桜宮公園周辺は、ちょうど造幣局の通り抜けの真っ最中と言うこともあり、またまた注目。



写真上) 船内からの様子

写真左) 管理車両（船）役もすごい！

## 水陸両用バスのスペック！

ガイドさんの案内によれば、水陸両用バスの概要は以下のようです。

(記憶が確かでない部分もありますのでご容赦を)



幅／高さ／長さ＝2.5／3.7／12m

陸上走行の最高速度＝約 100km/h

水上での最高速度＝ 約 15km/h

運転するには、バスと船の両方の免許が必用です。

写真左) 側面

写真左下) 水陸両用バスのコックピット。基本は車と同じようです。

写真右下) スクリューは可動式で、車の時はあげられます。



## 水陸両用バス！



水陸両用バスの値段 = 約1億円（内緒だそうですので言わないように!!）



ちなみに今回の90分のツアー、大人一人3800円でした。やっぱり、ちょっと高いような・・・。

